

湘南大庭・遠藤・六会・善行地域包括支援センター合同企画

対人援助論に基づく
苦しみを和らげる認知症ケア



令和6年8月29日（木）

14：00～16：00

ZOOM オンラインにて開催

「援助とは、苦しみを和らげ、軽くし、なくすることである」という対人援助論に基づく認知症ケアについて学びます。昨年の同研修内容を踏まえ、今回はその理論とケアの実践について講義を予定しております。

~~~~~申し込みについて~~~~~

受講ご希望の方は、8/15 までに下記の要領で事前申し込みをお願い致します。

「①所属 ②参加者氏名 ③連絡先 ④受講証明書発行希望の有無」を明記の上、  
六会地域包括支援センター（下記アドレス）まで、メールにて送信をお願いします。

Email : ikuseihoukatu@f-ikusei.or.jp

【問い合わせ】 六会地域包括支援センター 0466-80-5877 丸山・山田

湘南大庭・遠藤地域包括支援センター 0466-87-3588 宮本・小林

善行地域包括支援センター 0466-90-0065 川島

---

## 【研修目的】

認知症の方の体験に視線を転ずるアセスメント力を身につけることで、  
認知症の方とその介護を行う家族の苦しみを和らげるケアについて学んでいきます。  
また、関係性に基づき、関係の力をういてケアを行う「援助」の実践の習得を目指します。

## 【講義内容】

- ・意識の志向性について
- ・認知症の人の苦しみとは
- ・援助とは、何を、なぜ、どのようにしていくことなのか
- ・ケアマネジャーの専門職性
- ・対人援助論に基づく認知症ケアの実践について

## 【講師プロフィール】

講師：坂井明弘

- ・日本福祉大学社会福祉学科卒
  - ・株式会社 CARE&SONS 代表取締役  
鹿児島県薩摩郡さつま町地域密着型複合ケアホームよかよかん代表
  - ・鹿児島県認知症介護指導者
  - ・NPO 法人 対人援助 スピリチュアルケア研究会副理事 研修講師
  - ・日本認知症ケア学会石崎賞受賞（1999年・2000年）
-